

鳥取県倉吉市

# 伯耆国分寺古墳の研究

2019

鳥根大学法文学部考古学研究室  
伯耆国分寺古墳研究会

伯耆国分寺古墳の研究

伯耆国分寺古墳研究会

鳥取県倉吉市

# 伯耆国分寺古墳の研究

2019

島根大学法文学部考古学研究室  
伯耆国分寺古墳研究会



## 例 言

1. 本書は、鳥取県倉吉市国府字東ノ前に所在する<sup>ほうきこくぶんじ</sup>伯耆国分寺古墳を対象とした、1922(大正11)年の出土遺物の資料報告と、それに関連する記録(梅原考古資料)の紹介をおもな内容とする。
2. 出土遺物ならびに梅原考古資料の調査は、岩本崇(鳥根大学法文学部)と岩本真実(鳥根県教育庁埋蔵文化財調査センター〔実施時〕)が実施した。遺物調査は、鳥取県教育委員会文化財保護課の指導、倉吉市教育委員会文化財課の職員立ち会いのもと、2013年7月6・7・15・20・21・22・26・27日の8日間にわたり実施し、実測図作成と写真撮影による資料化をおこなった。また、米子市文化財団埋蔵文化財調査室が2014年に伯耆国分寺古墳出土の鉄鉈と赤色顔料の寄贈を米子市内の骨董商より受けており、これについて2018年5月8日に実測図作成と写真撮影を実施した。梅原考古資料は2014年5月24日に公益財団法人東洋文庫において閲覧し、記録類の複写をおこなった。
3. 本書にかかわる調査研究は、2013～2015年度鳥根大学法文学部山陰研究プロジェクト『山陰地方における既掘考古資料の再検討と歴史文化遺産の持続的活用』(研究代表者：岩本崇、課題番号1304)、2016～2018年度鳥根大学法文学部山陰研究プロジェクト『山陰地方における既掘考古資料の再検討による歴史文化遺産の活用と地域還元』(研究代表者：岩本崇、課題番号1602)の一環として実施したものである。
4. 米子市文化財団埋蔵文化財調査室が寄贈を受けた赤色顔料については理化学的分析を実施した。蛍光X線分析を鳥根県教育庁埋蔵文化財調査センターの上山晶子氏、硫黄同位体分析を近畿大学理工学部の南武志教授に依頼し、ご配慮を得た。記して謝意を表す。
5. 本書の執筆は、岩本崇(鳥根大学法文学部)、小田芳弘(倉吉市教育委員会)、高田健一(鳥取大学地域学部)、池淵俊一(鳥根県教育庁文化財課)、磯貝龍志(岐阜県文化財保護センター)、上山晶子(鳥根県教育庁埋蔵文化財調査センター)、南武志(近畿大学理工学部)がおこなった。編集は岩本があたった。
6. 本書で表示する方位の多くは、過去の調査記録類や報告によるものであり、真北や座標北といった明確な基準によるわけではない。標高についても基準は明らかではないので、注意されたい。
7. 出土遺物には品目ごとに通し番号を付すことを原則とし、番号は記述・挿図・図版で対応する。
8. 図版に掲載した写真は、すべて岩本が撮影したものである。
9. 引用文献は、各章の末尾に一括して付した。ただし、第4章の引用文献は各節の末尾に付した。
10. 出土遺物は1959(昭和34)年に当時の文化財保護委員会から一括して国の重要文化財に指定され、伯耆国分寺において所蔵されている。なお、指定外の出土遺物がわずかにあり、米子市文化財団埋蔵文化財調査室が所蔵していたが、現在は倉吉博物館に移管されている。梅原考古資料は、公益財団法人東洋文庫の所蔵である。
11. 調査ならびに報告書作成の過程において、出土遺物の所蔵者である長尾武士氏をはじめとする伯耆国分寺の皆様からは格別のご配慮を頂戴した。また、小口英一郎氏(鳥取県教育委員会)、根鈴輝雄氏(倉吉博物館)、岡平拓也氏(倉吉市教育委員会)、山村義照氏(公益財団法人東洋文庫)よりご助力を得た。さらに、以下の方々・諸機関からもご教示とご協力を賜った(敬称略・五十音順)。ここにその負うところを記し、篤く感謝申し上げる。

小原貴樹 佐伯純也 勢村茉莉子 中原 齊 一般財団法人米子市文化財団埋蔵文化財調査室 大手前大学史学研究所 倉吉市教育委員会 倉吉博物館 公益財団法人東洋文庫 鳥根県教育庁埋蔵文化財調査センター 鳥取県教育委員会 文化庁

伯耆国分寺古墳の研究

目 次

例 言

第1章 研究の目的と経過	1
1 研究の目的	岩本 崇 1
2 研究の経過	2
第2章 古墳をめぐる環境	5
1 古墳の位置と地形	小田 芳弘 5
2 周辺の遺跡	5
3 既往の報告と梅原考古資料	岩本 崇 10
4 伯耆国分寺古墳資料の評価のあゆみ	高田 健一 18
第3章 出土遺物	23
1 概 要	岩本 崇 23
2 銅 鏡	24
3 武 器	29
(1) 鉄 鍬	29
(2) 刀 剣 類	30
4 農 工 具	33
(1) 方形鍬鋤先	33
(2) 鉄 鎌	33
(3) 鉄 斧	35
(4) 鉄 鉈	磯貝 龍志・岩本 崇 35
(5) 鉄 鑿	岩本 崇 42
(6) 副葬状態の復元	43
5 赤色顔料	43
6 棺 材	43
第4章 研 究	45
1 伯耆国分寺古墳に副葬された鏡の履歴	岩本 崇 45
2 武器からみた伯耆国分寺古墳の年代	池淵 俊一 53
3 農工具からみた伯耆国分寺古墳	磯貝 龍志 61
4 伯耆国分寺古墳出土赤色顔料について	上山 晶子 69
5 伯耆国分寺古墳出土朱の産地推定	南 武志 71
6 山陰東部における伯耆国分寺古墳の歴史的位罫	高田 健一 75
第5章 総 括	83
1 伯耆国分寺古墳の築造時期	岩本 崇 83
2 伯耆国分寺古墳の築造背景と歴史的意義	85

図 版  
抄 録

## 挿 図 目 次

第 1 図	伯耆国分寺古墳の位置	1
第 2 図	調査研究の経過	4
第 3 図	周辺の遺跡	7
第 4 図	梅原報告にある埋葬施設の写真	10
第 5 図	梅原報告にある墳丘と埋葬施設の図面	11
第 6 図	梅原考古資料（公益財団法人東洋文庫所蔵）の資料カード（1）	12
第 7 図	梅原考古資料（公益財団法人東洋文庫所蔵）の資料カード（2）	12
第 8 図	梅原考古資料（公益財団法人東洋文庫所蔵）にある倉光清六の書簡	13
第 9 図	『新編倉吉市史』掲載の墳丘測量図	13
第 10 図	梅原報告にある伯耆国分寺古墳の墳丘（東から）	14
第 11 図	伯耆国分寺古墳の墳丘の現状（東から）	14
第 12 図	梅原報告にある遺物実測図	15
第 13 図	梅原報告にある遺物写真	15
第 14 図	梅原考古資料（公益財団法人東洋文庫所蔵）にみる出土遺物の記録（1）	16
第 15 図	梅原考古資料（公益財団法人東洋文庫所蔵）にみる出土遺物の記録（2）	17
第 16 図	八 鳳 鏡（鏡 1）	25
第 17 図	同向式二神二獸鏡（鏡 2）	26
第 18 図	三角縁・天・王・日・月・獸文帯三神四獸鏡（鏡 3）	28
第 19 図	鉄 鍬	29
第 20 図	剣・ヤリ	31
第 21 図	短 刀	32
第 22 図	方形鍬鋤先	33
第 23 図	鉄 鎌	34
第 24 図	鉄 斧	36
第 25 図	鉄 鉈	39
第 26 図	鉄鉈・鉄鑿	40
第 27 図	鉄鉈の柄縁付近にみる構造の違い	41
第 28 図	赤色顔料・棺材	43
第 29 図	伯耆国分寺古墳出土八鳳鏡とその系譜	45
第 30 図	伯耆国分寺古墳出土八鳳鏡の年代資料	46
第 31 図	伯耆国分寺古墳出土同向式二神二獸鏡とその関連資料	47
第 32 図	伯耆国分寺古墳出土三角縁神獸鏡とその類例	48
第 33 図	伯耆国分寺古墳出土のヤリ	54
第 34 図	有稜系鑿頭式鉄鍬（B1 類）の鍬身法量分布	56
第 35 図	有稜系鑿頭式鉄鍬（B1 類）の編年	57
第 36 図	山陰地域周辺の鑿頭式鉄鍬	57
第 37 図	長瀬高浜遺跡出土の有稜系鉄鍬	58

第 38 図	短刀の法量分布	59
第 39 図	伯耆国分寺古墳鉄製武器の年代観	60
第 40 図	2b 類の柄を装着する鉞の類例	62
第 41 図	卷材に布を使用する鉞の分布	62
第 42 図	伯耆国分寺古墳における鉄製農工具副葬配置	65
第 43 図	着柄の有無の区別が認められる副葬農工具	66
第 44 図	伯耆国分寺古墳出土赤色顔料の分析結果	70
第 45 図	硫黄同位体比の計算式	72
第 46 図	倉光書簡中の図	76
第 47 図	伯耆国分寺古墳の埋葬施設とその類例	77
第 48 図	墳丘盛土と埋葬施設の位置	80
第 49 図	副葬品からみた伯耆国分寺古墳の年代的位置	84

## 表 目 次

第 1 表	伯耆国分寺古墳出土品一覧	23
第 2 表	鉄鉞一覧表	42
第 3 表	日本列島における後漢後期の廣漢系鏡群・華西系鏡群と関連鏡	50
第 4 表	ヤリの呑口部形態と本体の茎形制	54
第 5 表	鑿頭式鉄鎌の属性一覧	55
第 6 表	短刀一覧表	59
第 7 表	鳥取県の農工具出土前期古墳	63
第 8 表	島根県の農工具出土前期古墳	64
第 9 表	伯耆国分寺古墳と類似する農工具を有する古墳	64
第 10 表	弥生時代後期から古墳時代の日本海沿岸の墳墓出土朱の硫黄同位体比	73
第 11 表	墳丘盛土と埋葬施設構築方法の関係	79

## 図版目次

- 中 扉 国府川から望む伯耆国分寺古墳（南東から）
- 図版 1 伯耆国分寺古墳出土銅鏡
- 図版 2 伯耆国分寺古墳出土武器・農工具
- 図版 3 八 鳳 鏡（鏡 1）
- 図版 4 同向式二神二獣鏡（鏡 2）
- 図版 5 三角縁・天・王・日・月・獣文帯三神三獣鏡（鏡 3）
- 図版 6 1 鏡 1 の鈕孔（1）  
2 鏡 1 の鈕孔（2）  
3 鏡 2 の鈕孔（1）  
4 鏡 2 の鈕孔（2）  
5 鏡 3 の鈕孔（1）  
6 鏡 3 の鈕孔（2）
- 図版 7 刀 剣 類
- 図版 8 方形鋤鋤先・鉄鎌
- 図版 9 鉄 斧
- 図版 10 鉄鉈・鉄鑿（上面）
- 図版 11 鉄鉈・鉄鑿（下面・側面）
- 図版 12 1 ヤリ 2（5）の把縁  
2 短刀 1（2）の把間側面孔  
3 鉈 2 の柄縁の形態  
4 鉈 2 にみる柄縁の段差  
5 鉈 3 の柄縁の形態  
6 鉈 12 の柄縁の形態（1）  
7 鉈 12 の柄縁の形態（2）  
8 鉈 12 の布巻き of 末端



## 報告書抄録

ふりがな	ほうきこくぶんじこふんのけんきゅう							
書名	伯耆国分寺古墳の研究							
副書名								
巻次								
シリーズ名	島根大学考古学研究室調査報告							
シリーズ番号	第18冊							
編集著者	岩本 崇〔編集〕・小田芳弘・高田健一・磯貝龍志・池淵俊一・上山晶子・南 武志							
編集機関	島根大学法文学部考古学研究室・伯耆国分寺古墳研究会							
所在地	〒690-8504 島根県松江市西川津町1060							
発行年月日	西暦2019（平成31）年3月20日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ほうきこくぶんじこふん 伯耆国分寺古墳	とっとりけん 鳥取県 くらしし 倉吉市 こうあざ 国府字 ひがしのまえ 東ノ前	32203	1 - 1692	35度 26分 10秒	133度 47分 48秒	大正11（1922）年秋頃 ～ 大正12（1923）年3月	不明	埋葬施設からの副葬品の出土
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺物		特記事項		
伯耆国分寺古墳	古墳	古墳時代前期		銅鏡、鉄鏃、剣、ヤリ、短刀、方形鍬鋤先、鉄鏃、鉄斧、鉄鉈、鉄鑿、赤色顔料、棺材など		東伯耆地域における古墳時代前期の首長墓。		

---

伯耆国分寺古墳の研究

島根大学考古学研究室調査報告第18冊

発行年月日 2019年3月20日  
編集・発行 島根大学法文学部考古学研究室  
伯耆国分寺古墳研究会  
〒690-8504  
島根県松江市西川津町1060  
印刷 株式会社 報光社  
〒691-0001  
島根県出雲市平田町993

---